

「理解・産出における母語の影響への取り組み」 国際シンポジウム

日本語学習者の母語・地域性を踏まえた日本語教育研究—国内外の日本語教育研究機関との協働的研究—

日時: 2013年3月16日(土)14:00~18:00

場所: 東京外国語大学(TUFS)府中キャンパス
アゴラグローバル 「プロメテウスホール」

14:10~14:50 「フランス語母語話者による接続助詞「し」の誤用例から

導入方法を考える」

秋廣尚恵(エクス・マルセイユ大学・本センター特任研究員)

14:50~15:30 「学習者の語彙の知識と語彙学習教材の活用について

—タイ人中上級日本語学習者を対象に—

タサニー・メーターピスィット(タマサート大学・本センター特任研究員)

鈴木美加(TUFS)

15:40~16:20 「日英双方向誤用コーパスからみる英語教育・日本語教育」

キャロライン狩野(TUFS・本センター連携研究員)、マシュー・ミラー(TUFS)

望月圭子(TUFS)

16:20~17:00 「"マーレッシュ"(maʁliʃ)の語用論的転移

—アラビア語母語話者を対象に—

榮谷温子(TUFS・本センター特任研究員)、谷口龍子(TUFS)

17:00~17:40 「日本語学習者コーパスに基づく2文の接続に関する誤用の類型

—中国語母語話者と英語母語話者の場合—

小柳昇(TUFS・本センター特任研究員)

17:40~17:55 質疑応答

※ 18:15~18:45 ワン コインパーティ (於 アゴラグローバルカフェ)

国際日本語教育部門 : 小林幸江 望月圭子 海野多枝 鈴木美加 谷口龍子